



薬学の歴史

くすり

軟膏

毒物

序文・後記：アクセル・カーン

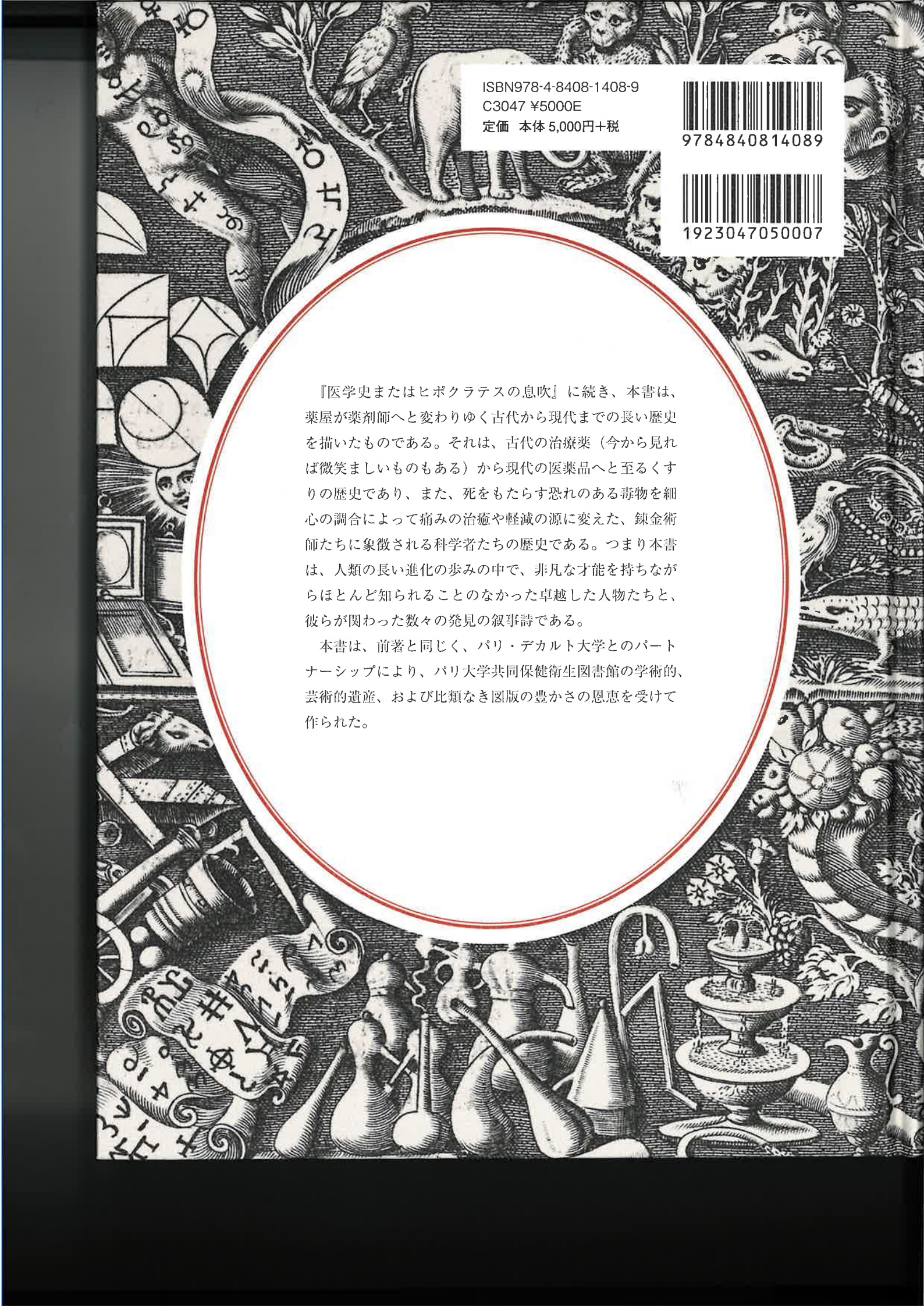
監修：イヴァン・ブローアール

パリ・デカルト大学

マルティニエール社

翻訳：日仏薬学会／日本薬史学会

薬事日報社



ISBN978-4-8408-1408-9

C3047 ¥5000E

定価 本体 5,000円+税



9784840814089



1923047050007

『医学史またはヒポクラテスの息吹』に続き、本書は、薬屋が薬剤師へと変わりゆく古代から現代までの長い歴史を描いたものである。それは、古代の治療薬（今から見れば微笑ましいものもある）から現代の医薬品へと至るくすりの歴史であり、また、死をもたらす恐れのある毒物を細心の調合によって痛みの治癒や軽減の源に変えた、錬金術師たちに象徴される科学者たちの歴史である。つまり本書は、人類の長い進化の歩みの中で、非凡な才能を持ちながらほとんど知られることのなかった卓越した人物たちと、彼ら関わった数々の発見の叙事詩である。

本書は、前著と同じく、パリ・デカルト大学とのパートナーシップにより、パリ大学共同保健衛生図書館の学術的、芸術的遺産、および比類なき図版の豊かさの恩恵を受けて作られた。